

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

景観まちづくり課 (内線: 7371)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
全国に誇るとっとの景観再発見事業	971	933	38				971	
トータルコスト	3,391千円 (前年度 2,590千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	景観資源の選定、情報発信							
工程表の政策目標(指標)	地域資源を活用したまちづくり実施地区数の増 (100地区) 景観まちづくり活動に取り組む団体数の増 (125団体) 景観行政団体 (市町村) 数の増 (8団体)							
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 日常生活の中でその価値に気づかれず見過ごされている景観資源を再発見、再認識し、自分達の地域を知り、他の地域の人達に知ってもらうことを通じ、景観を活かしたまちづくり活動の活性化を図る。 2 主な事業内容 (1) 「とっとり地域生活百景」活用モデル事業 平成20年度及び21年度に選定した「とっとり地域生活百景」が地元・市町村において活用されるよう、有識者等の意見をきき、県内3地区を選び、その活用方策を検討するモデル事業を実施する。 (2) 「とっとり地域生活百景」の展示PR 「とっとり地域生活百景」の写真パネル、説明パネル、位置図パネルを作成し、展示する。 3 これまでの取組状況、改善点 ○ 平成20年度から、地域の日常生活に潜在する景観資源を一般から募集し、評価委員会の評価に基づき、地域生活百景を選定。選定景観はホームページ掲載や展示会開催によりPR。 平成20年度 31景観選定 展示会3回開催 平成21年度 (第1回) 28景観選定 (第2回) 3月選定予定 展示会12回開催 (予定含む。) ○ 平成21年度中に選定を終えられるよう地域生活百景の選定を前倒しし、平成22年度は地域生活百景の地元・市町村による活用を促進するためのモデル事業やPRを実施する。								